

知っておきたい!

百日咳と 予防接種のコト

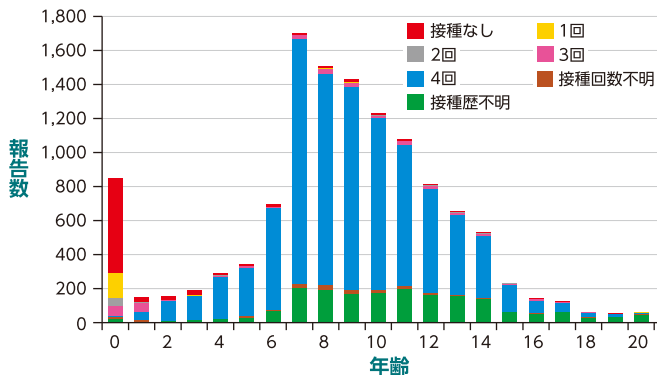


百日咳とは

息が吸えないくらいのひどい咳が続く病気です。
月齢の低い赤ちゃんが感染すると、十分に呼吸ができなくなり、くちびるが青くなったり(チアノーゼ)、けいれんを起こしたりします。まれに肺炎や脳症など命にかかわる重い症状を引き起こすこともあります。

百日咳の年齢分布と予防接種歴、罹患した6か月未満児の主な症状

百日咳症例の年齢分布と予防接種歴 (2019年第1週～第52週) (n=15,974*)



*百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン (初版) に則った症例に限定
 国立感染症研究所 感染症疫学センター・同細菌第二部：全数報告サーベイランスによる国内の百日咳報告患者の疫学 (更新情報) - 2019年疫学週第1週～52週 - 2020年1月8日現在 (掲載日: 2020年3月6日) より抜粋
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pertussis-m/pertussis-idwrs/9463-pertussis-20200306.html>

百日咳に罹患した0歳児 (6か月未満) の主な症状

症状	罹患数 (重複あり)	%
チアノーゼ	217	28
無呼吸発作	163	21
肺炎	28	4
痙攣	2	0.3
脳症	0	0



国立感染症研究所 2019年第1週から第52週*までにNESIDに報告された百日咳患者のまとめ (n=771)
 (2019年第52週週報データ集計時点)

*第1週～第52週 (2018年12月31日～2019年12月29日)

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis-200306.pdf>

6か月未満児の百日咳罹患者のうち、 兄姉からの感染が最も多くなっています

百日咳に罹患した6か月未満児の感染源

推定感染経路	罹患数 (重複あり)	%
母親	109	14
父親	145	19
兄姉	294	38
祖父母	45	6
家族内その他	27	4

家族内その他の内訳：いとこ (10)、おば (7)、おじ (7)、甥または姪 (3)
上記以外：家族内不明 151 (20%)、その他 7 (1%)、不明 136 (18%)

国立感染症研究所 2019年第1週から第52週*までにNESIDに報告された百日咳
患者のまとめ (n=771) (2019年第52週週報データ集計時点)

*第1週～第52週 (2018年12月31日～2019年12月29日)

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis-200306.pdf>

コラム

乳幼児期 (0～1歳) に接種した百日せき
含有ワクチンによる免疫効果は次第に減って
いき、5～6歳には百日咳にかかりやすくなっ
ています。

百日咳の感染から守るためには百日せき含有ワクチンの予防接種
が有効な手段です。また、予防接種を受けることは、重症化しや
すいワクチン未接種の赤ちゃんを守ることにもつながります。



百日せき含有ワクチンの 接種スケジュール

乳幼児期 (0～1歳)

0歳時に3回の接種で免疫を獲得し、1歳時に1回の追加接種を行います。

就学前 (5～6歳)

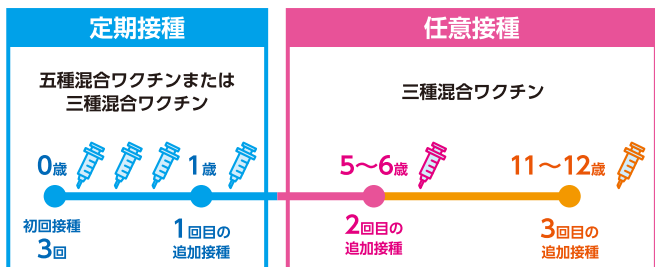
5～6歳の間に任意接種*として、2回目の追加接種を行うことが推奨されています。

小学生高学年 (11～12歳)

11～12歳の間に任意接種*として、3回目**の追加接種を行うことが推奨されています。

* 任意接種の費用は全額自己負担ですが、お住まいの地域によっては補助が出る場合がありますので、各自治体にご確認ください。

** 百日咳の予防を目的に、定期接種である二種混合ワクチン (DT) の代わりに三種混合ワクチンを接種することができます。



参考：日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 2026.4.1版
https://www.jpeds.or.jp/society-activities/pediatric-medical-care/vaccination/opinion/vaccine_schedule.html